

核融合炉・遮蔽定数サブW. G. (DDX)

第 1 回会合議事録

1. 日 時 昭和56年6月25日(木) 13:30~17:30
2. 場 所 原研東海研, 研究2棟222号室
3. 出席者

中沢, 井口(東大), 菊地, 山野, 関, 石黒, 大山, 鈴木(原研),  
大村(石川島), 中田(川重), 南(富士通)

4. 配布資料

A Code Development for Calculation of Double Differential  
Cross Section (石黒)

5. 議 事

本会合の趣旨は, DDX 作製コードの仕様を検討するに当り, 既に使用経験のある石黒氏にお話を伺い議論することにあることが説明された後, 会合に入った。

- ① 石黒氏より SUPERTOG コードの改良版 PRÖF-GROUCH-GII を更に改造して DDX 作製コードを作った際の定式化の概要, 計算上の問題点(特にエネルギー群巾の設定), 計算結果の大容量性などにつき解説がなされた。
- ② 以上の解説を基にエネルギー, 角度分割数, 出力形式などの仕様につき検討された。又 PALLAS-T/S コードも DDX を使用する形に改造することは可能であるとのコメントがなされた。
- ③ 当面, DDX 作製コードの定式化につき, 井口, 大山委員が, 又, 石黒氏の DDX 作製コードの動作について大村, 中田委員が担当し, 仕様作製に必要な検討を更に続けることとした。

以 上